



TITLE:

表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙ほか. 地球 1927, 7(4)

ISSUE DATE:

1927-04-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/183260>

RIGHT:

地 球

第七卷 第四號

昭和二年四月一日發行

主要目次

圖版 第三版	丹後峰山地震	理學博士	小川 琢治
圖版 第四版	丹後峰山地震被害密度分布圖	理學博士	上 水
地震損害輕減の可能性に就いて	理學博士	中 村 新次郎	
丹後峰山地震に顯はれたる起震線と地弱線	理學博士	安 橋 良一	
飛島の地質概要	理學士	大本 不二男	
飛島隆起陸塊と其平面形	理學士	金 尾 宗平	
ジョーリー氏の地殻運動說	理學士	西 尾 正夫	
福岡縣の人口地理	理學士	春 本 篤一	
別府間歇溫泉	理學士	玉 貫 光一	
大正十五年五月二十四日の十勝岳爆發記事	理學士		
北樺太採集記 (下)	理學士		
摘 錄			
新著紹介			
雜誌 報			
質疑應答			

京 都 帝 國 大 學 內
地 球 學 團

地球第七卷第五號(昭和二年五月)

豫告

圖版 第五版 丹後峰山地震

第六版 近畿地質圖

地震損害輕減の可能性に就いて(二)

理學博士 小川 琢 治

丹後峰山地震に顯はれたる起震線と地弱線(下)

理學士 中村 新太郎

大連灣海水の觀察

Ph. D.

新帶國太郎

關東平野に於ける重力偏差の分布に就て(上)

理學士 熊谷 直一

堺市附近海岸の貝類

黒田 徳米

岩漿内の均一平衡と火成岩成生作用に對する關係

(バウルニギリ)

アメリカ博物館遠征隊のゴビ砂漠に於ける探

檢の方法と結果

(オスボーン)

講話

石油地質學概要(九)

大村 一藏

摘錄

新著紹介

雜報

質疑應答

地球第七卷第四號

(昭和二年四月)

目次

圖版第三版 丹後峰山地震

圖版第四版 丹後峰山地震被害密度分布圖

地震損害輕減の可能性に就いて(一).....

理學博士 小川 琢治 二三〇

丹後峰山地震に顯はれたる起震線と地弱線(上).....

理學士 中村 新太郎 二六〇

飛島隆起陸塊と其平面形.....

理學士 安 齋 徹 二七三

飛島隆起陸塊と其平面形.....

理學士 大 橋 良一 二八三

ジョーリー氏の地殻運動說.....

理學士 本 間 不二男 二九五

福岡縣の人口地理.....

理學士 金 尾 宗平 二九六

別府間歇溫泉.....

西 龜 正夫 三〇六

大正十五年五月二十四日の十勝岳爆發記事.....

理學士 春 本 篤夫 三一六

雜 錄

○小藤文次郎——大正十四年但馬地震

雜 報

○岩崎重三——久慈の石炭及琥珀

○長尾巧——九州に於ける白堊紀層及第三紀層間の層序界

○曆の改革○大陸の構造○大島瀬戸○スマトラの烟草○銅世界産額○印度オカの開港○過去三年間世界石油産額○イラク近況

質 疑 應 答

○グランチャコ○ケニヤ○アバディーン

○安房線木原線砂利及碎石用石材○經濟上より建設工事用砂利及碎石用石材○經濟上より觀たる蘭領印度

地球圖書の葉 (四)

□讓受けたし

- 1 地學雜誌 第三十五年第四百十七號 (大正十二年震災直後のもの)
- 2 同 右 第二十七年第三百十三號 (大正二年一月號)
- 3 水路要報 第五年十一號
右希望者 名古屋市立工藝學校 耕崎正男
- 4 地球 自第一卷至第六卷 (内一冊でも二冊でもよろし)
- 5 地理學評論 第一卷及第二卷
- 6 地理教育 第四卷第一號及第二號
右希望者 福島縣相馬郡中村町縣立相馬中學校宮館勇一
- 7 地質調査所二十萬分ノ一地質詳圖中左記の七葉
角島 福岡 大分 宮崎 熊本 鹿兒島 甌島
- 8 地質調査所―日本帝國油田地質及地形圖並に其の説明書中
第一區より第五區まで

右希望者 京都帝國大學理學部地質學礦物學教室

地球 前號 (第七卷第三號) 要目

東亞弧狀構造線の新解釋

..... 理學博士 小川 琢 治

黑鑛々床の海底成因に就て..... 理學士 大橋 良 一

氣候と人類..... 三村 信 男

マルチニク火山の破裂に就いてのラクロア

教授講演..... 理學博士 松 山 基 範

地球の大形態成因に關する楔狀説に就て(下).....

..... 理學士 帷 子 二 郎

肥前大串の砂金..... 理學士 筑 紫 越 郎

佛蘭西に於ける地學研究室瞥見(二).....

..... 文學士 寺 田 貞 次

摘 錄

新著紹介

雜 報

質疑應答

地球學團規約

昭和二年三月廿五日印刷納本
昭和二年四月一日發行

(第七卷)
(第四號)

第一條 本學團は地球學團といふ。

第二條 本學團は地球に關する學術的研究を進め兼て同好の士の親睦をはかるを目的とする。

第三條 本學團の事務所は京都市白川通分町京都帝國大學地質學教室内に置く。

第四條 本學團の事業は次の如くである。

第五條 本學團は學の指導の開催

第六條 本學團員は地球學費として一年分六圓又は半年分三圓

第七條 本學團は學團を脱退しやうとする者は、其の旨を學團に通知する

註文規定

●購讀者の御註文及び廣告に關する件は博多成象堂へ御申込下さ

●本誌の御註文代金郵税共すべて前金にて御送り下され度候

●振替貯金にての御註文は(振替大阪七番參差番、東京五貳六〇

●七番)博多成象堂に願上候

●前金切の場合は「前金切」の印章捺捺致すべきに付直に

●御拂込下され度候

●特に請求書及領收書等を要する場合は郵券參錢御送付下され度

定價

一冊	定價金五十錢	郵税金貳錢
六冊(前金)	定價金參圓	郵税不申受
十二冊(前金)	定價金六圓	郵税不申受

廣告料

一頁 金五十圓

發行所

博多成象堂
電話大阪特南壹壹七七番

發賣所

博多成象堂
振替(東京五貳六〇七番
大阪七番參差番)

所 捌 賣

(東京) 東京堂 東海堂 大東館
(大阪) 北隆館 上田屋 大東館
(神戶) 盛文館 參進社
(京都) 寶文館 大瀬書店
(名古屋) 共盛社 マガジン 星野書店

製複許不
載轉禁

編輯者 京都帝國大學 地球學團

右代表者 藤田元春

發行者 博多久吉

印刷者 井下精一郎


印刷所 井下書籍印刷所

大阪市南區大寶寺町西之丁貳拾貳番地

大阪市南區大寶寺町西之丁貳拾貳番地

東京市神田區錦町三丁目拾貳番地
大阪市南區大寶寺町西之丁貳拾貳番地

CHIKYŪ THE GLOBE



Vol. VII. No. 4.

April, 1927.

Plate 3. The Fault and Damage in the Tango Earthquake,
March 7, 1927.

Plate 4. The Map showing Demolition and Life Deprivation
in the Tango Earthquake.

On the Possibility of Diminution of Earthquake Damages.

By T. Ogawa, *R. H.*253

The Seismotectonic Line and the Sympathetically animated
Fault manifested in the Tango Earthquake.

By S. Nakamura, *R. S.*260

Geology of Tobishima.

By T. Anzai.272

Elevated Land-mass of Tobishima and its Horizontal Articulation.

By R. Ōhashi, *R. S.*283

J. Joly: The Surface History of the Earth. 1925.

By F. Homma, *R. S.*285

Geography of Population of Fukuoka-ken.

By S. Kanao.299

Geyser in the Beppu Spa

By M. Nishiki.306

Explosion of Tokachi-dake, May 24, 1926.

By A. Harumoto, *R. S.*308

Trips to Sachalien (3)

By K. Tamanuki.315

Abstracts—New Books—Geographical Notes—Inquiries.

Chikyū Gakudan

Kyōto Imperial University